

富士市立神戸小学校

学校だより臨時号
令和6年10月22日

神戸っ子

◇小中一貫目標◇

「自分らしく
ともに かがやく」

◇令和6年度重点目標◇

「自分で決めて
みんなとチャレンジ」

秋冷の候、保護者の皆様方におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、令和6年度全国学力・学習状況調査の本校の状況について、具体的な内容に触れながら説明させていただきます。これを機会に本校の子どもたちの学力・学習状況の傾向を理解し、子どもたちの一層の学力の充実に努めていきたいと思っております。

全国学力・学習状況調査とは…

全国学力・学習状況調査は、毎年小学6年生と中学3年生を対象に行われています。

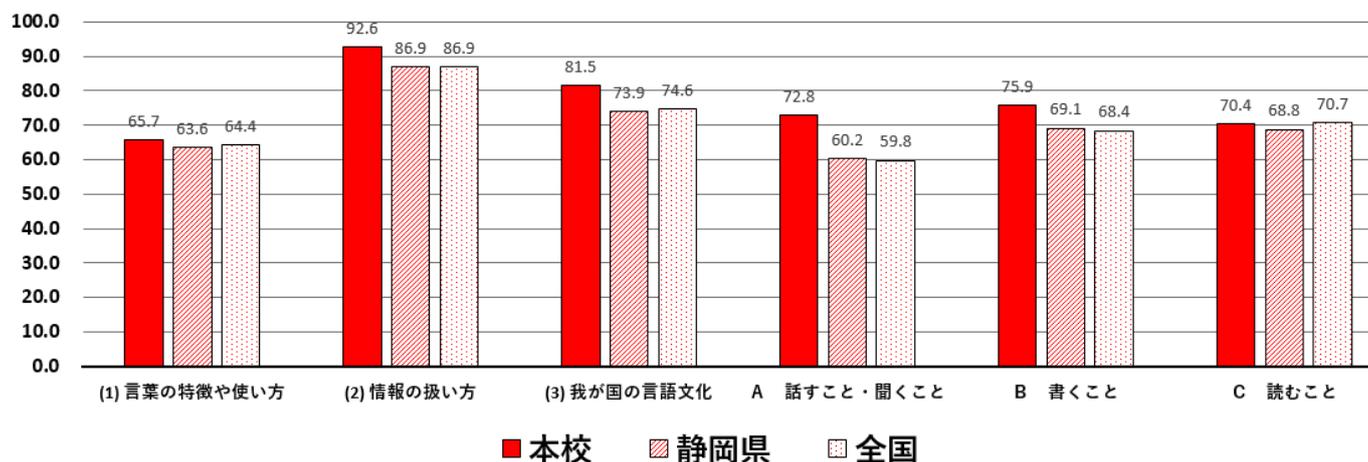
文部科学省や教育委員会が全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることが目的です。学校には、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てることが求められています。

この調査は、「教科に関する調査」と、生活習慣や学習環境に関する「質問紙調査」で構成されています。「教科に関する調査」は、「知識・技能、思考力・判断力・表現力等は、相互に関係し合いながら育成されるもの」という学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎知識と活用力を一体的に問うように構成されています。

本校の調査結果と課題

<国語>

学習指導要領の内容ごとの正答率 (%)



【国語・まとめ】

- ・ どの観点も、全国や県の平均を上回っています。本校の平均正答率は73%でした。
- ・ 特に正答率が低かった問題と高かった問題は、次ページに紹介してありますので、ご一読ください。
- ・ 問題番号3三の【心に残ったところと理由を書く問題】においては、無答の児童が目立ちました。「自分の考えに自信が持てなかった」「問題を解く時間がなかった」「条件に合わせて記述できなかった」等、様々な原因が考えられます。学校としては、考えを自分の言葉で記述できるよう、国語を中心に他教科においても考えを伝えたり書いたりする機会を増やしていきます。



問題番号 2 三ア	〔問題文〕 高山さんは、【高山さんの文章】を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていた——部ア、イを漢字に書き直すことにしました。次の——部ア、イを漢字でていねいに書きましょう。		
問題の概要	出題の趣旨	本校	全国
【高山さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す。(きょうぎ)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しくつかうことができる。	29.6 %	43.4 %
「競技」と書くべきところを「協議」と書いたり、「競」の「口」を「日」と書いたりした児童が数名いました。日常生活において漢字を使って書くことや、適切な漢字を選んで入力することを、引き続き指導していきます。			

問題番号 3 二(1)	〔問題文〕 原さんは、【物語】の①の他にも、オニグモじいさんがハエの女の子にどのように話すか迷っているところがあると考えました。オニグモじいさんがどのように話すか迷っていると考えられるところとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。		
問題の概要	出題の趣旨	本校	全国
「オニグモじいさん」が「ハエの女の子」にどのように話すか迷っていると考えられるところとして、適切なものを選択する。	登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる。	59.3 %	66.9 %
全国平均と比べて低い結果となっています。登場人物の心情を適切に読み取ることができるよう、様々な分野の本や新聞など多様な文章と出会う機会を設け、読書活動の充実を図っていきます。			

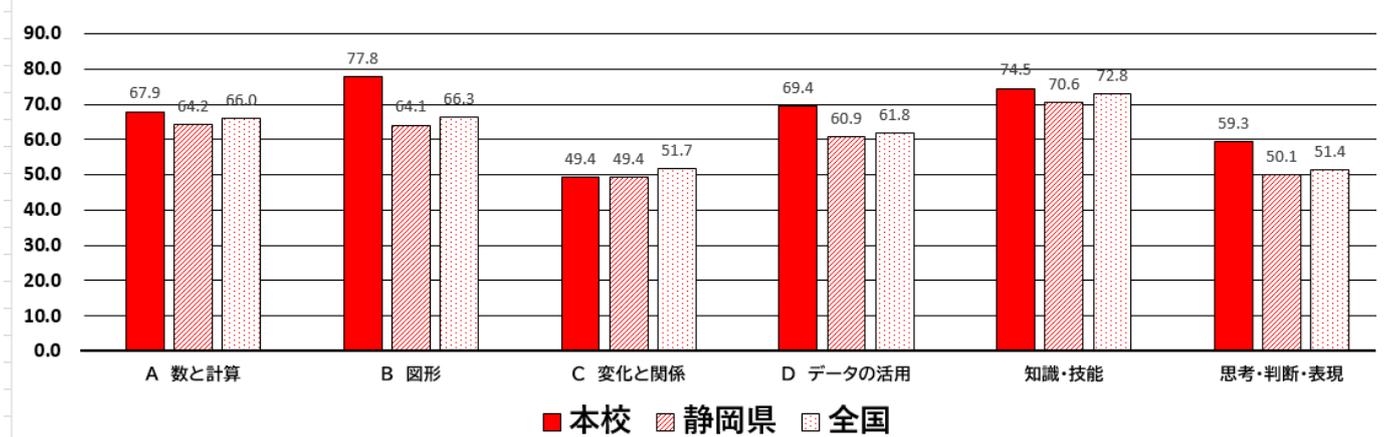


問題番号 1 二(2)	〔問題文〕 和田さんは、村木さんの発言⑥を受けて、発言⑦のように話しました。和田さんの話し方のくふうとして最も適切なものを次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。		
問題の概要	出題の趣旨	本校	全国
オンラインで交流する場面における和田さんの話し方の工夫として適切なものを選択する。	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。	74.1 %	52.9 %
全国平均と比べて大幅に高い結果となりました。和田さんと村木さんの会話のやり取りから、双方の気持ちや動作の意図について理解し、表現できました。子どもたちにとってイメージしやすい問題だったのかもしれません。			

問題番号 1 三	〔問題文〕 和田さんは、【オンライン交流の様子の一部】をふり返し、発言⑮のところで、【和田さんのメモ】が役に立ったことに改めて気づきました。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。		
問題の概要	出題の趣旨	本校	全国
オンラインで交流する場面において、【和田さんのメモ】がどのように役に立ったのかを説明したのものとして、適切なものを選択する。	目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる。	77.8 %	63.8 %
全国平均と比べて大幅に高い結果となりました。和田さんのメモがどのように役に立ったのかを正確に読み取り、表現できました。複数の資料を基に考えることは実生活で大切なことです。			

<算数>

学習指導要領の領域ごとの正答率 (%)



問題番号 1 (1)	<p>ゆうまさんは、折り紙を 72 枚持っています。ゆうまさんが持っている折り紙は、こはるさんが持っている折り紙より 28 枚少ないです。こはるさんが持っている折り紙の枚数を求める式を、下のアからエまでのの中から 1 つ選んで、その記号を答えましょう。</p> <p>ア) $72+28$ イ) $72-28$ ウ) 72×28 エ) $72\div 28$</p>		
問題の概要		出題の趣旨	
問題場面の数量の関係を捉え、持っている折り紙の枚数を求める式を選ぶ。		問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。	
		本校	全国
		44.4 %	62.1 %
<p>「イ」と答えた児童がとて多かったです。おそらく、問題文中に書かれている「少ない」という言葉に着目し、引き算を選択したものと思われます。</p> <p>「28 枚少なく持っているのは誰なのか」「誰の枚数が問われているのか」など、しっかりと問題場面を捉える力を付けるために、絵や図などを用いて考えたり、本当にこれで良いか確かめを行ったりするよう、どの学年でも指導していきます。</p>			

問題番号 4 (3)	<p>かなたさんとほのかさんは、それぞれの家から学校まで歩いて行きました。家から学校までの道のりは、右の図のとおりです。家から学校まで、かなたさんは 20 分間、ほのかさんは 24 分間かかりました。それぞれの家から学校までの歩く速さを比べると、かなたさんとほのかさんのどちらが速いですか。下の 1 と 2 から選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。1 かなたさん 2 ほのかさん</p>		
問題の概要		出題の趣旨	
家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いのかを判断し、そのわけを書く		道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる	
		本校	全国
		25.9 %	31.0 %
<p>全国的にも低い正答率でした。本校も同様です。この問題は、「2 人の距離が同じことに気が付けたか」「同じ道のりの場合、かかった時間からどちらが速いかを推測できるか」など、複数の事柄を関連付けて考えを導き出し、さらに、自分の言葉で説明する力が求められていると考えられます。</p> <p>自分の考えや根拠を、言葉や数、図などを使って詳しく説明することを大事にしたノートづくりや話し合い (伝え合い) 活動を実践していきます。</p>			



問題番号 3(4)	ことねさんたちは、角柱の面の数について考えています。五角柱の面はいくつですか。答えを書きましょう。また、そのわけを、底面と側面がそれぞれいくつあるのかがわかるようにして、言葉と数を使って書きましょう。そのとき、「底面」、「側面」の2つの言葉を使いましょう。		
問題の概要	出題の趣旨	本校	全国
五角柱の面の数を書き、そのわけを底面と側面に着目して書く。	角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる	88.9 %	72.0 %
全国平均と比べて大幅に高い結果となりました。「どこが底面で、どこが側面か」「底面と側面の数」など、正しく理解できており、適切に表現できました。			

問題番号 2(1)	まず、あやのさんたちは、このトラック2台では、何 kg の米を運ぶことができるかについて考えました。次に、このトラック16台では、何 kg の米を運ぶことができるかについて考えています。～中略～上の㉞に入る数に着目すると、 350×16 の積㉟は、どのように求めることができますか。㉞に入る数に着目したときの㉟の求め方を、式や言葉を使って書きましょう。そのとき、㉞に入る数をどのように求めたかのかがわかるようにしましょう。また、㉟に入る数も書きましょう。		
問題の概要	出題の趣旨	本校	全国
$350 \times 2 = 700$ であることを基に、 350×16 の積の求め方と答えを書く。	計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えをしきた言葉を用いて記述できるかどうかをみる。	77.8 %	63.8 %
全国平均と比べて高い結果となりました。単純に 350×16 を計算するだけではなく、1つの解き方 (350×2) を活用して 350×16 の答えを求めることができました。問題に対して多様な考え方を持つ力があると思われます。今後も引き続き、問題を多角的に捉え、多様な考えを導くような授業を実践していきます。			

問題番号 5(4)	こうたさんは、3月19日の卒業式の日までに、桜が開花してほしいと思っています。～中略～上の㉞に入る式を、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、上の㉟に入る数を書きましょう。		
問題の概要	出題の趣旨	本校	全国
示された桜の開花予想日の求め方を基に、開花予想日を求める式を選び、開花予想日を書く。	示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみる。	77.8 %	63.8 %
全国平均と比べて大幅に高い結果となりました。和田さんのメモがどのように役に立ったのかを正確に読み取り、表現できました。情報を読み取り、考え、判断する力は生活の中で必要な力です。			

【算数・まとめ】

- ・学習したことを実生活とつなげ、いろいろな場面で、活用できるようにします。
- ・図形の性質や求積を、具体物などを使って分かりやすく指導していきます。
- ・学習用語を使って自分の考えや解き方を論理的に説明し合う機会を多くします。
- ・問題に必要なデータを選び、それらを使って考える授業を実践します。

学習状況調査（児童生徒質問紙）から

<学習面> ※「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した数値です。

	本校	県	全国
国語の勉強は大切だと思いますか	100 %	94.8 %	94.5 %
算数の勉強は大切だと思いますか	96.3 %	94.9 %	94.6 %
英語の勉強は大切だと思いますか	96.3 %	92.9 %	92.1 %
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	100 %	92.0 %	91.6 %
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	92.6 %	77.8 %	75.8 %
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	92.6 %	86.4 %	86.3 %
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	77.8 %	80.3 %	80.7 %

以上の項目から、本校には前向きに学習に取り組む児童が多いことが分かります。学級の友達と学び合う活動は、多様な考えに気付いたり自分の考えに自信をもてたりできるなど、学習の効果が高いことを児童なりに理解しているようです。先日の学校評価においても、98.8%の児童が友達と関わり合うことを楽しんでいると回答しており、本校重点目標でもある「みんなとチャレンジ」を体現できています。「自分で学び方を考え、工夫する」ことに関して、授業で学び方を身に付け、選択できるような指導に努めます。

<自分のこと> ※「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した数値です。

	本校	県	全国
自分には、よいところがあると思いますか	96.3 %	84.9 %	84.1 %
将来の夢や目標を持っていますか	66.7 %	83.2 %	82.4 %
人が困っているときは、進んで助けていますか	96.3 %	93.1 %	92.7 %
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	77.7 %	68.3 %	67.1 %
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.3 %	96.1 %	95.9 %
友達関係に満足していますか	88.9 %	91.8 %	91.1 %
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	100 %	92.1 %	91.7 %

規範意識が高く、人の役に立ちたいと思っている児童が多くいます。自尊感情も高く、友人関係に満足している児童も多いです。困ったり悩んだりしたときに、素直に相談できる児童も多いことが分かりました。その他にも、「決まった時刻に就寝する、起床する」「朝食を毎朝食べている」項目も高い数値で、家庭での生活リズムが守られていることが分かりました。

「幸せな気持ちになる」の100%は、家庭や地域に大切にされて、心身共に健やかに育っている神戸小6年生を表していることが分かりました。

まとめ

今回の調査結果を受け、以下のようなことに重点を置き、これからも授業改善に努めていきます。

- 家庭学習において、学年の発達段階に応じて自分で学習する習慣をつくったり、自分に合った学習方法と学習内容を決めたりできるよう支援していきます。
- 授業では、個人学びの時間とグループや学級全体での課題解決の時間を効果的に使い分けていきます。
- どの項目も大切にしたいことです。人間関係づくりプログラムやスクールカウンセラーによる授業を継続的に行い、自分や周りの人たちを大切にする心を育てます。